

平成30年度 事業報告書 榎島ひいらぎ保育園

1 おもな取組

昨年度園舎増築を行い、定数130名を50名増の180名にして、宇治市の待機児童対策に協力しました。1歳児以上のクラスは複数になり、計11クラスとなりました。複数クラスにすることで、昨年度の20数名が1クラス10数名になり、ゆったりとしたスペースで安心安全かつ、創造的な保育ができるようになりました。

榎島ひいらぎ保育園のキャッチフレーズは「自然大好き！運動大好き！食べるの大好き！」であり、開園時から重点的に取り組んでいます。自然大好きとは、「身近な自然に自ら主体的に働きかける活動」です。自然に自ら主体的に働きかけるということは、指導者が何らかの意図をもって、自然に働きかけるあそびや活動を予想し仕組んでいかなければなりません。自然はどんなところにも存在する

ので、その身近な自然とどう向き合えるか、どう向き合わせるのかを意図できる力量を保育士自らが持つ必要性があります。いろいろな草花があったとしても、保育士自身が何も感じる事がなければ、子どもたちに気づきはあってもそれ以上の何かを感じることはできにくい。つまり、その花をきれいだな、美しいなと思うことの感受性をこの就学前のこの時期に身につけさせるとともに、自然体験を豊かにさせていくことが必要です。

次に、「運動大好き」では、子どもたちの運動能力向上のためのベースとして、スポーツテストを6年前から行っています。経年変化や個々の運動能力の伸びを数値として把握

し、日々の運動遊びを改善するようになってきました。27年度から京都文教大学の岡本浄実准教授をお招きして、スポーツテストを通して運動遊びをどのように展開していくのかのご教示をいただきました。本園の園児の運動能力は、文科省の数値よりほとんどが上回っている傾向が出ています。児童に運動能力を上げるためにトレーニングを行うのではなく、アクティブラーニング的な遊びを通して、楽しみながら運動能力が向上してきたと考えています。

最後に「食べるの大好き」では、食育を通して、食べるのが大好きな子になってほ



しいとの願いがあります。園内の畑には四季折々の野菜がなっています。毎日の水やりは年長児が中心になって行い、作物の収穫は幼児組が担当し給食室に持ち込み、その食材が給食に使われます。子どもたちは、自分たちが育てた野菜という思い入れがあり、それをつかった給食は残さずに喜んで食べています。また、園には栄養士が2人おり、うち1名の栄養士が随時食育指導に入り、子どもたちに食べることの大切さを考えさせています。

2 平成30年度施設運営方針の実施状況

重点 全ての取組の中心は、人権尊重であることを再確認し、日々の活動は、人権を大切に
したものであることを職員全体で理解して、取組を進めるようにする。

- ① 改定された保育所保育指針について学びを深め、指針を踏まえた保育の実現に努力する。 . . . ○
- ② 専門リーダーや職務別リーダー養成など、キャリアアップ研修の積極的な参加により、技能の習得を目指すとともに処遇改善を行い、やりがいを感じ安心して働き続ける職場にしていく。 . . . ○
- ③ 将来を担う若年職員をみんなで指導し、チームワークを伴った円滑な園の運営を行う。 . . . ○
- ④ 乳幼児期からの体力づくりを目指すために、「スポーツテスト結果から見た運動あそびの改善」に取り組む。 . . . ○
- ⑤ 支援を必要とする子どもの保育や保護者支援に対する職員の力量を高めるとともに、発達障がい（ADHDや自閉症スペクトラムなど）の子どもを焦点化した指導を行う。 . . . ○
- ⑥ 栄養士を中心に食育の充実を図る。 . . . ○
- ⑦ 科学好きな子どもを育成するため、広くなった園庭の環境作りを工夫するとともに、園内外の自然にふれる機会を意図的にもち、自然を愛する心情を育てるようにする。 . . . ◎
- ⑧ 感染症に対する知識と対応力を身につけ、園内での感染症対策に全力を注ぐ。 . . . ◎
- ⑨ 平成31年度こども園移行に向けた取組を順次進めていく。 . . . ○

3 利用者数

◆榎島ひいらぎ保育園の入園園児数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0 歳	短時間	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	標準	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
1 ・ 2	短時間	6	6	4	5	4	4	4	5	4	9	5	11
	標準	55	56	58	57	58	58	58	57	58	53	57	51

3 歳	短時間	5	4	3	3	3	4	4	4	4	4	3	4
	標準	31	32	33	33	33	32	32	32	32	32	33	32
4 ・ 5	短時間	6	6	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	標準	57	58	57	58	59	59	59	59	59	59	61	61
計	短時間	18	17	15	15	14	15	15	16	15	20	15	22
	標準	158	161	163	163	165	164	164	163	164	159	166	159
	合計	176	178	178	178	179	179	179	179	179	179	181	181

◆一時預かり保育利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数 (人)	1	8	18	14	5	15	25	7	3	4	2	3
保育日数 (日)	24	24	26	25	26	23	26	24	23	22	23	24
1日平均 (人)	0.04	0.33	0.69	0.56	0.19	0.65	0.96	0.29	0.13	0.18	0.09	0.12
合計	105											

4 職種別職員数（平成31年3月31日現在）

職 種	園長	副園長 主任	保育士	保育補助	看護師	栄養士	調理員	警備員	事務員	合計
正規職員	1	2	22		1	2	1			29
パート職員			14	6			1	1	1	23
合計	1	2	36	6	1	2	2	1	1	52

5 年間行事内容（資料まー1）

6 保護者アンケートのまとめ

(1) 平成30年度 運動会アンケート結果

〈しづく〉たいへんよかった 3 よかった 3 あまりよくなかった 0 よくなかった 0

- ・優先席のシステムが良かった
- ・学年ごとに競技が見られて良かった
- ・初めての運動会だったが、成長が見られとても楽しめた

- ・片親のみ出席の場合、兄弟を競技中のみ預けたかった

〈うみ〉 たいへんよかった 6 よかった 10 あまりよくなかった 1 よくなかった 0

- ・優先席があったのでゆったり見られることが出来た
- ・おおよそのタイムスケジュールがあれば良かった
- ・年長組が一つ一つ中心になって進めていく所が良かった
- ・親子で楽しめた
- ・天候が不安定の中での実施は残念だった
- ・競技が1つだけだったのは残念だった



〈そら〉 たいへんよかった 6 よかった 3 あまりよくなかった 0 よくなかった 0

・一部制になり心配もあったが、会場も広く優先席もあったので見やすかった

- ・担任がひとりひとり見ている姿に安心
- ・子ども自身が楽しめた競技内容だった
- ・2部制の方がコンパクトだと思う



〈ちきゅう〉

たいへんよかった 5 よかった 3 あまりよくなかった 2 よくなかった 0

- ・優先席、ゆったりスペースがとれて良かった。
- ・年長の OP ダンスが可愛かった。組体操に感動した。
- ・運動遊びはちきゅう→たいよう→ぎんが で成長が見られた。
- ・バルーンが見にくかった？バルーンが二つあったらもっと近くで見られたのでは。
- ・当日が雨化も…で予備日が晴れなら変更しても良かった。親が安心して見られる。判断が甘かったのではないかな。2日間足を運ぶことになって子も親も大変だった。
- ・観客席にシートを敷いていて踏まずに優先席に行くのが大変だった。
- ・リハーサルの DVD を販売してほしい。
- ・2部制にしてほしかった。
- ・開会式のダンスが見にくかった。



〈たいよう〉

たいへんよかった 5 よかった 5 あまりよくなかった 1 よくなかった 0

- ・台風接近時の開催についてのマニュアルが必要なのではないかな。

- ・延期や中止は仕方がないが、連日は避けた方がいいと思う。
- ・未就園児を抱っこしての3時間は厳しいから2部制の方がよい。
- ・バルーンの配置を教えてもらいたかった。



- ・優先席は座って見てほしい。(自分の学年じゃなくても応援したい。座ってと声を掛けたら「自分の子ども出てないでしょ。」と言われた。)

<ぎんが>

たいへんよかった 8 よかった 4 あまりよくなかった 1 よくなかった 0

- ・雨だったら近くの小学校に体育館を借りて…は難しいか。急な予定変更に来られない人もいる。
- ・本部の隣の優先席がなくなったのが残念。
- ・小さな学年の親子のふれあいは運動会で必要なのか。なくとも良いのでは。
- ・OP 東側にいる子は全く見えず、写真も撮れなかった。
- ・二部制の方がいい
- ・タバコを吸う場所を探して園の横で吸うのをやめてほしい。家に帰って吸ってもらうか、我慢するか。小さな子がいる場だからこそ、考えてほしい。3年前に園の駐車場で5～6人が吸っていてその中を子どもが通らないといけなかったのが嫌だったし、格好が悪い。



(考察)

今年度は 天候が不安定だったことで、途中で終わり 2 日間に分かれてしまったことで、不満を感じた保護者もあったが、雨の中無理をせず次の日に切り替えたことで、しっかり練習の成果を発揮できたとする声もあり、天候ばかりは仕方がないことかとも思う。2部制については、賛否があがっているが、園全体としての一体感が得られるということから、来年度も一部制で行いたいと考える。また、今回は優先席がゆったり取れたことで、見やすかったという声があり、来年度も継続していきたいと考える。

(2) 平成30年度 コスモス発表会アンケート結果

提出数 62 (回答率 42%)

たいへんよかった	47	よかった	15
あまりよくなかった	0	まったくよくなかった	0

【しずく】

・素敵な発表会にすごく感動しました。保育園で色々な事が教えてもらい、楽しく過ごしているのが伝わってきました。年長さんまで見せて頂き、我が子もこんな事ができるだろうか？と楽しみにになりました。一部はゆったり見られましたが、2・3部の保護者の人数に驚きました。優先席は移動が大変だと思いますが、2・3部を見て納得しました。みんなが平等に良い席で見られるように工夫してくださって本当に感謝です。来年もぜひしていただきたいです。

一つ気になったのは、せっかく可愛い服を着て楽しく踊ったりしているのに先生方が後ろや端におられるため、どうしても正面が見えづらくなってしまっていたのが残念でした。子供達も先生方の方を見ているのでどうしても横や後ろを向いてしまうのは仕方ないとは思いますが…うちはたまたま前の方にいたので顔までハッキリ見えていましたが、他のお子さんは見えにくかったかなと思いました。

・舞台まで先生方の歌に誘導されて歩いている子供達の姿を見ただけで、まだ始まっていないのに涙が出ました。

【うみ】

・エリアで分かれて観覧するのはいい取り組みだと思いました。

・観覧エリアの入り口を後ろから入るようにして順番に前が空いたら案内でズレて座るようにして頂くと横からいきなり割り込んで観覧席に座る方もなくなると思います。

・優先席のくじでの色分けは公平で各家庭が均等に見ることができて良かったです。祖母も一緒に見ることができ喜んでいました。三部制のおかげで混雑する事もなく、見やすかったです。子どもの様子、頑張りを見る機会を作って下さり、先生方には感謝しています。子どもが舞台の真ん前で座り込んでしまい、見にくいご家庭もあったのでは…と申し訳なく思っています。

・優先席があったのですごく見やすかったです。来た順、早い者勝ちで好きな所に座ったりではなく、一家族一人だけ優先席に座れたので近くで見ることができたので良かったです。家では見られない姿だったりもするので凄く成長を感じました。

・優先席は良かったですですがスペースが狭かったかなと思いました。本当の色のスペースが入れなくて違う所に座っている人や、譲ってくれる人を見かけました。

・二部を後ろで見ていた時に立ち見の人が多かったので、「人多すぎひん？」と言っている人もいました。

【そら】

・プログラムに記載されている説明がわかりにくい所が多々ありました。

・来賓席に空席が目立ち、せっかくあるなら、シニア・シルバーの方に座って頂けるといい

・緊張して固まるかなと思っていましたが、大きな声でセリフを言えていたので感動しました。母は優先席だったので近くでよく見られましたが、父はあまり見えなかったと…理由を聞くと

「小学生のお姉ちゃんがビデオ回すのに、必死で目の前まで腕がきていた」ということでした。大人ばかりでお姉ちゃんお兄ちゃんは妹や弟の姿が見えにくいやなと思いました。

・子どもたちが頑張って練習した歌や踊りが見られて一年の成長を感じることができて嬉しかったです。他のクラスの歌もうたったり覚えていたりして、練習の時から楽しかったのだなと思いました。

・優先席はシールのない方も座ってらっしゃったので、わかってはらないのかなと思いました。

・優先席があったので近くで見られて嬉しかったです。来年も楽しみにしています。

・プログラムが一つなので、歌があったらと思います。



そら組 劇遊びの風景

【ちきゅう】

・代表一人が前で見るということでしたが、両親でその時間を共有して見ることが出来なかったことは、少し残念でしたが、その分近い席で見られて良かったです。毎年、成長している子どもの姿が見られて嬉しいです。

・第一部の事前に教えてもらっていた順番と役が、当日と全然違っていたのが残念でしたが、楽しく見させてもらえました。

・学年、年齢ごとのかわいらしさや発達段階を感じられました。

・舞台上で一人ひとりが表現する、のびのびと楽しむという所は少し残念でした。うみ組の最後の踊りはみんなギューギューで動きにくそうでした。ちきゅう組も一人ひとりの出番がもっとあったらと感じました。クラスの数も多いので2日に分けるなど、大変な点があるかと思いますが、クラスのカラー、取り組んできた遊びなどが見てみたい。

・色分けはとても良かったのですが、兄弟の方が多くてすでに満席だったので場所が選べなかった。(1部の方が2部にそのまま移動する為)でも去年に比べて前で見られたので良かった。

・今回初めて色別で席を決めてありましたが、今まで見てきた中で一番見やすかったです。保護者同士の席の争奪戦もなかったように思うので、ストレスなく安心して観られました。一列目、三列目でしたが、前列もギューギューになっていないので隙間からちゃんと観えました。後ろにいた祖父母達もちゃんと観られたそうです。事前に袋で上着などを置いておけた事も荷物の場所をとらせず、良かったです。

・場所(荷物・集合)の混乱は多少あったかと思いますが、ホールまでの入退場の誘導、ホール内の誘導はとてもスムーズだったと思います。説明もわかりやすく、指示通りに動けば混乱しませんでした。

【たいよう】

- ・色で列を分けていたのでよく見えました。来年もこのシステムが良いです。
- ・園児の数に対してホールのキャパが小さすぎるなど。
- ・音楽が止まるのは事情があったかもしれませんが、子どもたちがかわいそうでした。
- ・歌の時の整列は名前順？年中なので背の順で並んだ方が見やすいと思いました。
- ・荷物がなかったので場所も広くとれ、優先席もとても見やすかったです。
- ・4～5歳にかけてはできることがどんどん増えて、大きな成長する時期です。昨年度に比べて飛躍的に成長した姿を見ることができ、微笑ましく嬉しい気持ちになりました。
- ・特に印象に残った場面は、音響のトラブルの際の子どもたちの姿です。悪ふざけすることなく待ち続ける姿を見て感心しました。その時その場面での先生の言葉かけに救われたようにも見えますが、きっと日常的な関わり、保育の中で育まれた安心感があったからこそだと思います。
- ・いきいきした表情の劇や歌を見させていただいて、普段からの保育園やクラスでの楽しさや安心感が伝わってきました。

【ぎんが】

- ・今年の席順はとても良い案と感じました。園児、保護者のことを考慮してのプログラム順だと思いが、移動が多く、入れ替えが少し大変だなと感じました。
- ・たいよう組で音楽がとぎれたのは少し残念でした。
- ・2列目は少し見にくかったですが、最後の発表会子どもたちが頑張っているのは感動しました。
- ・クラス一丸となって頑張っている様子が伝わってきた。一人一人の個性が出て、とても良かった。成長が感じられ感動しました。
- ・全体的にとっても良かった。ぎんがの発表会は本当に最後だなと感じた内容で全部感動だった。
- ・優先席は見やすくて良かったが、家族みんなで見られないのが少し残念な気がした。
- ・優先席を設けたことは平等でとても良かったと思います。個人的には子どもが頭にかぶっているもののサイズが大きかったのか、動く度にずれて目にかぶってしまい、子ども自身もそれが気になり、何度もかぶっていたものをあげていて、最終的にはずれた状態になってしまったままでダンスする度に目にかぶってしまい、ずれてしまうので集中できなかったのではないかと思います。次回からは子どもがちゃんと集中して、楽しめるように服装を気にしてあげてください。毎年の保育者の出し物を楽しみにしていたのですが、今年はなくて残念でした。
- ・荷物を教室で預かって下さったのはとても良かったです。荷物が無い分、一人で多く座って見られたのではないかなと思います。場所も（赤青黄色）もよく、ルールを守ってスムーズな移動ができたと思います。
- ・今回は優先席での観覧でしたが、いつもより席の確保を気にすることなく、気持ちに余裕があったように思います。いつも注意点としてカメラやビデオは顔や頭から出ないようにすることが書かれてますが、やはりそれを守っていない保護者もおられ残念でした。（省略）先生がみつ



ぎんが組 歌の練習風景

けたら、そっと横から声をかけてほしいなあと思いました。

- ・子供たちの成長や先生方の子どもたちに対する接し方が見られて、すごく良かったです。今年から優先席を設けていただき、ゆったりと見ることができました。続けてほしいです。

(考察)

定員が増えたことにより、客席の混雑が予想されたことと、前年度のアンケート結果を鑑み、今年度は「優先席」を初めて導入してみたところ、大変好評であった。このことを踏まえ、来年度も継続していきたいと思う。内容については、「普段の取り組みの延長線上にあるもの」という意識が、浸透してきていることを感じるものが多かったように思う。

放送の不具合が生じてしまったことは、今

7 職員研修内容

(1) 園内研修

- ① テーマ 「子ども主体の保育について」
(実践発表)

日 時 平成 30 年 8 月 9 日 (木)

講 師 高村 美紗保育士



- ② テーマ 「子ども主体の保育を取り入れよう～各クラス・学年の取り組み～」

日 時 平成 30 年 12 月 19 日 (水)

作品を通しての実践発表

9 保健室利用実績・感染症による欠席状況

(1) 保健室利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数 (人)	24	29	57	50	25	39	16	19	28	19	17	25	348

(2) 病気早退延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
乳児	14	20	44	25	20	28	6	11	14	8	10	10	210
幼児	9	5	13	22	5	8	7	6	12	8	3	9	107
合計	23	25	57	47	25	36	13	17	26	16	13	19	317

(3) 早退理由

	発熱	嘔吐・下痢	リンゴ病	腹痛	体調不良	合計
乳児	192	17	0	0	1	210
幼児	84	12	0	2	9	107
合計	276	29	0	2	10	317

(4) 感染症による欠席状況 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
インフルエンザ										14	1		15
水痘									6	6			12
流行性耳下腺炎			1										1
りんご病													0
手足口病				2	2								4
溶連菌				4									4
アデノウイルス													0
RSウイルス						3							3
ヘルパンギーナ			2	2								1	5
マイコプラズマ													0
ウイルス性胃腸炎				1							1		1
合計	0	0	3	9	2	3	0	0	6	20	1	1	45

10 課外教室参加者数

ジョニーのサッカースクール（講師 松下 洋亮氏）

（毎週水曜日 午後 3 時 30 分から 4 時 30 分）…参加者 年中 5 名、年長 4 名
空手道場（講師 加藤 吉辰氏 加藤 映彦氏）

（毎週火曜日 午後 3 時 30 分から 4 時 30 分）…参加者 年中 12 名、年長 11 名

11 実習生・インターンシップ・ボランティア・体験学習の受け入れ

(1) 保育実習

平成 30 年 5 月 28 日～6 月 9 日 1 名 大阪こども保育専門学校

平成 30 年 8 月 6 日～24 日

平成 30 年 9 月 3 日～14 日 1 名 京都文教短期大学

平成 31 年 2 月 12 日～25 日 1 名 京都文教大学

平成 31 年 2 月 18 日～3 月 1 日 1 名 池坊短期大学

(2) 高校生インターンシップ

平成 30 年 7 月 23 日～7 月 27 日（5 日間） 女子 1 名 久御山高校

(3) 中学・高校生の保育体験

平成 30 年 8 月 1 日・2 日 3 名 榎島中学校

(4) 見学実習

平成 30 年 5 月 23 日（水） 京都文教大学 3 回生 9 名

平成 31 年 2 月 4 日・5 日 ニチイ学館 5 名

12 地域の老人介護施設との交流

グループホーム鳳凰榎島訪問① 平成 30 年 5 月 30 日（水）

グループホーム鳳凰榎島訪問② 平成 30 年 9 月 14 日（金）

ヴィラ向島訪問 平成 30 年 9 月 20 日（木）

園の運動会にグループホーム鳳凰より訪問 平成 30 年 10 月 6・7 日（土・日）



13 社会貢献

(1) 地域の美的環境整備（園周辺の花壇や街路樹の管理）

花壇の花苗の植え付け、散水、除草、施肥、ごみ等の清掃

(2) 地域の運動広場の管理と運営（京都府所有の芝生広場の管理）

芝生の散水、除草、芝刈り、施肥、ごみ等の清掃

地域住民への利用許可等、管理と運営

14 苦情受付の状況

なし